

令和８年度第１回吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会 議事要旨

開催概要

- ◇日時 令和８年７月２８日（火）午後７時００分から午後９時００分まで
- ◇場 子育て青少年拠点夢つながり未来館 ４階多目的会議室
- ◇出席者 神戸委員・谷村委員・杉山委員・重見委員・佐藤委員・吉田（風花）委員・
福田委員・橋本委員・太田委員・田中委員・本田委員・川口委員・宮本委員・
古田委員・佐野委員（１５人）
- ◇傍聴者 なし

議題

- １ 令和７年度夢つながり未来館利用状況について・・・資料（１）～（６）
- ２ 各委員会からの報告及び意見交換について・・・資料（７）～（９）
- ３ その他
- ４ 次回開催日について

資料

- （１） 令和７年度夢つながり未来館利用状況（前年度比較）
- （２） 令和７年度夢つながり未来館事業報告
- （３） 令和７年度青少年活動サポートプラザ事業報告
- （４） 令和７年度青少年活動サポートプラザ事業一覧
- （５） 令和７年度のびのび子育てプラザ事業報告
- （６） 令和７年度山田駅前図書館事業報告
- （７） 令和７年度青少年委員会事業報告
- （８） 令和７年度子育てフロア委員会事業報告
- （９） 令和７年度図書館フロア委員会事業報告

議事要旨

- １ 令和７年度夢つながり未来館利用状況について・・・資料（１）～（６）

事務局から、資料を基に令和７年度夢つながり未来館利用状況について説明を行った。
委員から出された意見・質問の概要は以下のとおり。

◇山田駅前図書館の利用状況について（質問）…資料 1

委員 山田駅前図書館の利用者数が令和 6 年度に比べて令和 7 年度が減少したのは、システム改修が影響していますか。

また、CD や DVD の貸出数も減少していますが、その理由はなんですか。

委員 令和 7 年度は図書館システムの更新に伴い約 10 日間の休館がありました。休館に伴う開館日数の減少は、利用者数減少の一因です。

また、CD や DVD などの AV 資料の貸出は年々減少しています。若年層を中心に配信サービスの普及による物理メディアの利用減少や、出版点数の減少が影響しているのではないかと考えています。

◇夢つながり未来館について（質問）…資料 2

委員 夢つながり未来館のような複合施設は市内に他にもありますか。

委員 「吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館」は名のとおり市の拠点の施設であり、吹田市内には同様の施設は他にありません。

◇夢つながり未来館の利用者数について（質問）…資料 1

委員 夢つながり未来館建設時に想定された利用者数はどの程度でしたか。

委員 設立当初は利用者数の明確な想定が示されておらず、約 37 億円という建設費に対して高額ではないかと懸念する声もありました。しかし蓋を開けてみれば、年間 30 万～40 万人が利用する、他の自治体には類を見ないほどの高い実績を上げています。開設から 15 年が経過した現在も、全国の公共施設関係者が視察に訪れるなど高い評価を受け続けています。さらに、開館当時の青少年世代が親となり、今度は子育て世代として再び利用するようになるなど、地域に根ざした施設として理想的な循環も生まれています。

◇のびのび子育てプラザの一時預かり保育について（質問）…資料 5

委員 のびのび子育てプラザの一時預かり保育について、0 歳児の利用者数が減少している理由を教えてください。

委員 0 歳児の利用減少の理由については、現在分析が進んでおらず、明確な回答ができません。

◇のびのび子育てプラザの一時預かり保育 Web 予約システムについて（質問）…資料 5

委員 昨年度から導入した Web 予約システムのトラブル等の実情を教えてください。

委員 令和 7 年 6 月に導入された Web 予約システムでは、1 か月分の予約を 7 日間で受付し、抽選しています。これまで電話予約だったため、電話がつながりづらいといった課題がありましたが、Web 予約システムの導入により電話の課題がな

くなり、保護者の方も余裕を持って予約できるようになりました。また、Web 予約システムではキャンセル待ちも可能となりました。ただし、当日の体調不良によるキャンセルなどがあるため、利用者数は前年度とあまり変わっていません。

◇若者の読書離れについて（意見）

委員 最近の若者は読書の機会が減り、SNS に時間を奪われています。しかし、本を読む体験は、悩んだ時の大きな支えとなります。そこで、図書館と青少年活動サポートプラザが連携し、本好きの人が本を紹介したり活躍したりできる場をつくり、読書の魅力や体験を共有できる場を増やしてほしいと思います。こうした取り組みが SNS に負けない魅力ある活動になることを期待しています。

◇青少年の相談件数について（質問）…資料Ⅰ

委員 青少年の相談件数は毎年約 300 件の新規相談がありますが、継続案件と合わせて対応は可能なのですか？

委員 年間約 600 件を超える相談を、9 名の相談員が対応しています。そのうち新規相談が約 300 件、継続相談が約 300 件です。福祉部門や学校、スクールソーシャルワーカーなど関係機関と連携し、役割分担を行いながら対応しています。

◇青少年の相談件数について（質問）…資料Ⅰ

委員 青少年の相談件数について、引きこもり、不登校、発達障害が重複している場合の件数の取扱いはどうしていますか？

委員 相談内容は、相談者から主な訴えを聞き取り、この主訴を集計しています。学生など所属がある場合は、引きこもりであっても不登校に分類することが多いです。

◇青少年の不登校について（質問）…資料Ⅰ

委員 不登校児童の実際の数是不登校の相談件数よりも多いと考えられますが、相談件数が少ない理由は何ですか？また、不登校の相談は保護者からの連絡が多いですか？

委員 不登校児童の総数は増加しているものの、新規相談件数は減少傾向にあります。これは学校側の対応強化が一因と考えられますが、当事者の同意を得られなければ相談につなげられない課題もあります。今後も施設の周知と関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図っていきます。

相談の多くは保護者からのものでありますが、関係機関からの連絡で面談を行うケースも多くあります。

◇青少年の相談先について（意見）

委員 子どもが急に学校へ行かなくなった際に、保護者が速やかに相談先につながる体制を整えてほしいです。

◇のびのび子育てプラザの事業について（質問）…資料5

委員 のびのび子育てプラザのような事業を、保健センターでも行っていますか。

委員 保健センターでも産前産後の方とその家族が交流できる事業等を行ったり、地域の保育園でも開放事業を行ったりしています。また、のびのび子育てプラザに来所された方に対して、その方のおうちの近くの事業の案内なども行っています。

◇未来館の周知について（意見）

委員 一部の地域では、子供や若者が公共の場で長時間、また夜遅くまで過ごすケースがあり、この地域以外では、他学年や他校の児童が交流できる場が少ないと感じます。ぜひこの施設の周知を広く行って欲しいです。

委員 未来館でも周知に努めており、市報8月号でも掲載する予定です。今後も様々な媒体を活用し、施設の認知度向上に取り組んでまいります。

2 各委員会からの報告及び意見交換について・・・資料（7）～（9）

各委員会から、資料を基に令和7年度の委員会報告を行った。委員から出された意見・質問の概要は以下のとおり。

◇青少年委員会の活動について（意見）…資料7

委員 青少年委員会の報告を拝見し、多くの楽しい事業が行われていることに感銘を受けました。特に、吃音の理解を広める事業が毎月開催されていると知り、大変驚きました。参加者も幅広く、小さなお子さんから多くの方が参加していることは、とても素晴らしい取組だと思います。このような活動は他にあまり見られないため、ぜひ今後も継続していただきたいです。

◇未来館のイベントについて（意見）

委員 こちらは、皆さんが楽しい事業やさまざまなイベントを開催しています。委員の皆さまも、ぜひこれらの事業やイベントに参加していただき、子どもたちの様子を一緒に見守っていただければと思います。

3 その他

なし

4 次回開催日について

◇次回の運営協議会について

日程：令和９年２月（令和８年１１月頃に確定のうえ、通知予定）